



まちのわだい



町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！



8/9 小学生国内研修

道外の友達と収穫体験

町内の小学生が、8月2日から4日まで神奈川県成町から、7日から10日まで高知県中土佐町から研修のために幕別町を訪れた小学生と交流しました。この日は、研修をサポートしてくれた幕別清陵高校の生徒と一緒に小笠原農園(南勢)で有機栽培のタマネギやジャガイモ、トウモロコシの収穫とカレー作りを体験。地域や年齢を超えて交流を深め、笑顔あふれる時間となりました。



7/29 道の駅・忠類

祝・来場者500万人達成！

道の駅・忠類で道の駅登録30周年記念イベント「真夏の縁日」を開催。さらに同日、来場者500万人を達成しました。記念すべき500万人目は、音更町の向野優菜さんと息子の碧桜さんでした。2人には道の駅店長から商品の詰め合わせ、飯田町長からホテルアルコのペア宿泊券が贈呈されました。



7/19 社会を明るくする運動

明るい社会の実現に向け街頭啓発

犯罪や非行をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることができる明るい社会の実現に向け、町内3カ所で街頭啓発を行いました。保護司や民生委員など社会を明るくする運動幕別町推進委員会関係者や、幕別清陵高校・中札内高等養護学校幕別分校の生徒が参加し、総勢50人でチラシやグッズを配布しました。



7/18 叙勲伝達

長年の功績をたたえて

昭和49年に忠類消防団へ入団以来、令和3年3月まで46年9カ月にわたって消防団員として活動された菅野常男さんが、瑞宝単光章を受章しました。平成31年からの2年間は幕別町消防団副団長を務め、後進の育成にも尽力してこられました。また、昭和48年から平成27年まで11期42年にわたって忠類村議会議員・幕別町議会議員を務められた故増田武夫さんは、旭日双光章を受章しました。

全道大会・全国大会へ 決意新たに

第55回全道U-12 サッカー大会(札幌市)へ



▶**札南WEED**
吉田 一惺さん(主将)
(札内南小6年・サッカー)
「全道大会では、諦めずに一勝でも多く勝てたらいいなと思います」

十勝地区予選Cブロックで優勝し、7月29日から行われた全道大会の出場権を獲得。地区予選では札南WEEDが唯一、全試合無失点に抑えました。

全日本中学校陸上競技選手権大会(愛媛県)へ



▶**梅津 雄飛さん**
(札内中3年・陸上男子1500m)
「全道大会では思うように結果が出せなかったので、悔しさをばねにして、決勝に残れるよう頑張りたいです」

十勝大会で4分6秒74の記録を出し、全国標準記録を突破。この時点で全国大会出場権を獲得して全道大会に臨み、6位入賞を果たしました。

全国中学校卓球大会(高知県)へ



▶**坂上 己旺さん**
(札内中2年・卓球女子シングルス)
「十勝大会・全道大会では強い気持ちを持って戦うことができました。まず一勝を挙げられるよう頑張ります」

部活動とクラブチームで週6回の練習をこなす坂上さん。武器は同じ振り方で上回転・下回転と回転の方向を変える巻き込みサーブ。

協定を締結しました

7/31 NTT東日本
東日本電信電話株式会社北海道東支店



▶**自治体DX推進に関する連携協定**
行政のデジタル化を進めることで、住民サービスの向上を目指します。NTT東日本の専門的な知見を活用しながら、まずは窓口業務の待ち時間の削減や、住民との素早い情報共有、職員の事務効率化に取り組みます。

7/21 池田町・豊頃町・浦幌町



▶**東十勝4町による広域災害に係る相互応援に関する協定**
平常時の訓練や災害時の人・物・場所の提供などを連携することで、災害対策の強化と被害軽減を図ります。これまでも共に防災の取り組みを進めてきた東十勝4町のつながりが、より強固なものとなりました。

7/20 東洋株式会社



▶**地域創生の推進に関する包括連携協定**
地域活性化や地域経済への寄与を目的に締結しました。東洋株式会社が運営する地域コミュニティサイト「TON×TON」内のコンテンツ「推しまち！」で、地域情報やまちの魅力の発信が始まりました。



▶地球を守る。未来を守る。そのために今できることを。

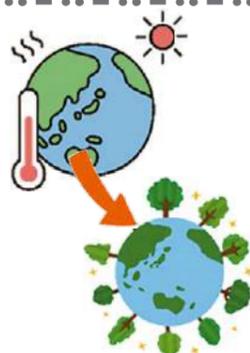
環境ナビ

防災環境課
地域環境係
(☎54-6601)

【特集】地球温暖化について考える(1/5回)

幕別町では、令和4年度を「ゼロカーボン元年」と捉え、地球温暖化対策推進委員会を設置し、町の取り組み計画である「幕別町地球温暖化対策実行計画(案)」を策定し、二酸化炭素の削減目標や再生可能エネルギーの導入目標を設定したところ。令和5年度は、目標達成に向け具体的な施策を決めるとともに、計画案に対する町民のみなさんの意見を踏まえた上で、計画を完成させることとしています。

そこで、今月号から5回にわたり、地球温暖化やその対策について記事を掲載しますので、みなさんも一緒に考えてみませんか。



◆今、地球上で何が起きているのか ~やがて来るかもしれない恐ろしい未来~

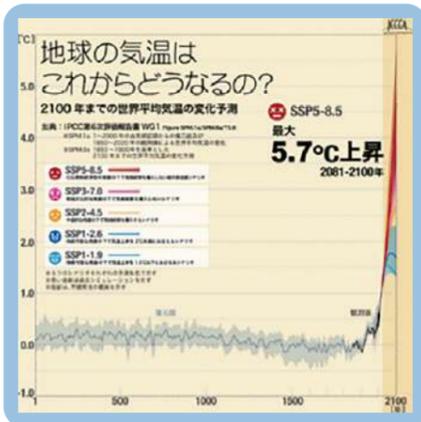
地球温暖化は、大気中の温室効果ガスが宇宙に逃げる熱を吸収することで平均気温が上昇する現象です。温室効果ガスの主なものは二酸化炭素であり、1800年代後半の産業革命以降、大量の化石燃料が消費されたことで大気中の温室効果ガスが増え、地球の平均気温は2020年までに1.09℃も上昇し、十勝ではさらに高い2.00℃も上昇しています。このまま対策をしなければ、2100年までに最大5.7℃も上昇する可能性があります。

現在、すでに地球上では温暖化のさまざまな影響が出ています(下記参照)。もし、5.7℃も平均気温が上昇すれば地球はどうなってしまうのか、恐ろしい未来が想像されるのではないのでしょうか。

「平均気温の上昇」

	平均気温
世界(1850)	+1.09℃
日本(1900)	+1.26℃
北海道(1900)	+1.63℃
十勝(1900)	+2.00℃

※かつこ内は比較対象年



- 「すでに生じている地球温暖化の影響の一例」
- ・海面上昇⇒水没する地域の拡大
 - ・気候変動
 - ①大雨⇒洪水などの災害が増加
 - ②干ばつ⇒水不足や砂漠化の拡大
 - ③乾燥⇒大規模な山火事の増加 など
 - ・生態系の損失
 - ①環境の変化による動植物の減少
 - ⇒農業や漁業などの1次産業に影響
 - ⇒食糧不足に繋がる可能性も

◆世界の動き

各国の削減目標

国名	削減目標	今世紀中頃にに向けた目標
中国	2030年までにGDP当たりのCO ₂ 排出量を65%以上削減(2005年比) ※CO ₂ 排出量のピークを2030年より前にすることを旨とする	2060年までにCO ₂ 排出を実質ゼロにする
EU	2030年までに温室効果ガスの排出量を55%以上削減(1990年比)	2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにする
インド	2030年までにGDP当たりのCO ₂ 排出量を45%削減(2005年比)	2070年までに排出量を実質ゼロにする
日本	2030年度において46%削減(2013年比) ※さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく	2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにする
ロシア	2030年までに30%削減(1990年比)	2060年までに実質ゼロにする
アメリカ	2030年までに温室効果ガスの排出量を50-52%削減(2005年比)	2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにする

各国のNDC提出・表明等、表現のまま掲載しています(2022年10月現在)

上記のとおり、地球温暖化対策は急務となっています。そこで、2015年に「気候変動に関する国際連合枠組み条約(UNFCCC)」の21回目の締約国会議である「COP21」がフランス・パリで開催され、パリ協定が採択されました。

「パリ協定」
世界共通の長期目標として、産業革命前(19世紀後半)からの世界の平均気温上昇を2℃より十分下方に抑え、同時に、1.5℃に抑える努力を継続することなどを設定

これを機に、各国では地球温暖化対策の取り組みを加速させていて、日本では2030年度に2013年度比で46%の温室効果ガスを削減、2050年までに温室効果ガス排出量と森林などの吸収量を均衡させ、排出量実質ゼロとするカーボンニュートラルを実現することを2020年に宣言しました。

日本全国の自治体には、国の目標達成に向けて取り組みを行うことが求められています。

10月号へ続く

テーマ 家族で備える

防災のしおり・ハザードマップが新しくなりました

防災環境課
防災危機管理係
(☎54-6601)



「幕別町 防災のしおり」と「ハザードマップ」を更新し、9月上旬までに全戸配布しますので、ぜひご活用ください。

新しい防災のしおり・ハザードマップは、ここが変わりました!

①洪水浸水想定範囲が広がりました。

従前の洪水ハザードマップは、十勝川、札内川、途別川、猿別川の4河川が原因となる洪水が発生した場合を想定したもので、それ以外の河川では洪水シミュレーションが行われていませんでした。

今回、従来の主要4河川に加え、道は町内19の中小河川に浸水想定区域を指定しました。これに町が単独で想定した忠類地区の4河川を加えた町内23河川の洪水浸水想定区域をマップ上に表示しました。

また、津波浸水想定区域も最新の予測結果に更新しています。



②洪水時の避難所を新たに指定しました。

洪水浸水想定範囲が拡大したため、洪水時の指定避難所を追加しています。詳細は、防災のしおりの指定避難所一覧をご確認ください。

なお、新しく指定した避難所は以前から地震などの指定避難所となっていた施設であり、新しく指定した施設はありません。

③「北海道・三陸沖 後発地震注意情報」や避難所での留意事項なども新たに掲載しました。

◆自分の住んでいる地域の危険箇所や指定避難場所を確認しておきましょう。緊急時の集合場所などの家族の約束事は事前に決めておくことが大切です。

町民参加型一斉防災訓練(シェイクアウト訓練)に参加しませんか?

9月24日⑩に「町民参加型一斉防災訓練」を実施します。

これは、町内のどこでも参加できる防災訓練で、防災行政無線から放送する地震発生時の合図に合わせ、その場で右図のように3つの安全確保行動をとる「シェイクアウト訓練」です。

全戸配布した「防災のしおり」に防災訓練のポスターを同封しています。自宅や職場など、どこでも取り組むことができる訓練ですので、ぜひご参加ください。

3つの安全確保行動

- ①姿勢を低くします。
 - まず低く
- ②机の下に潜るなど、頭を守ります。
 - 頭を守り
- ③揺れが収まるまで動かずに待ちます。
 - 動かない

▶防災情報メール
二次元コードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、登録ください。
touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp

▶幕別町防災公式LINE
二次元コードを読み込み「友だちに追加」で登録ください。
ID検索はコチラ⇒⇒@makubetsu